

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	56	利用者様及びご家族様のニーズに対応したホーム内での個別支援が行えていない。	特に自己発言が行えない利用者さんに対しての個別ニーズに対してご家族様への聞き取りや利用者様の行動観察などを行いホーム職員に周知していただき個別支援につなげていく。	職員が一度に集まるのは困難なこともあり職員が観覧できる連絡帳を用いてご家族様からの意見や利用者様の様子を職員全員が共通理解として把握出来るようにする。	12ヶ月
2	56	施設内清掃(特にトイレ)などは行き届いていない。	常にトイレ環境の清潔を保ち利用者様の排泄を心地よく行っていただくことを目指す。またホール内の清潔を保ち利用者様が住みやすい環境づくりを行う。	2度ある清掃時間(夜勤・日勤帯)のみではなくトイレなどは使用後など常に清掃できる環境づくりや利用者様と一緒に清掃を行えるような環境を作っていく。	12ヶ月
3	58	行動範囲が広く活動制限がない利用者様に対しては本人様に合わせることができていると思うが制限のある利用者様に対しての生活ペースに対し施設本位になってしまうことがある。	全利用者様に対して行き届いた利用者様本位のペースを再確認し利用者様のペースを保てるようにする。	アセスメントの再確認により利用者様の取り組めることやしたいことを確認し職員に周知を行い本人様本位のサービスを提供できるようにする。	6ヶ月
4	67	時折職員本位に利用者様に対して介護を行ってしまうことがあり利用者様が取り組めることも行ってしまうことがある。	職員さんが利用者さんの取り組みに対して身体状況を把握したうえで介助出来るように職員さん全員が行えるようにする。	アセスメントを職員さん全員が把握し利用者様介助にとって今は何が必要かを把握し(職員全員が利用者さん全員の個人のデータを作成した)まとめを行い職員さん全員の意思統一をはかった。	6ヵ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。